

「内部統制で実現する企業価値の向上」

KDDI株式会社 内部統制室長 吉岐雅隆氏

私たちは最初から、内部統制について、これは企業クオリティを向上させる活動なのだとそう宣言してその姿勢を貫いてきました。

J-SOX、金融取引法という法的な側面はあるにしろ、そもそも内部統制とは、企業が健全な経営を行い、適切な目標を達成するための手段であり、しくみです。そういう観点からは、当たり前のこととして備えておくべき枠組みであり、程度の差はあれ今までどの企業でもやってきたことです。

とはいえ、今までは各社とも体系的に取り組んできたわけではなかったろうと思います。事態が発生してからの特効薬的な取り組みが中心で、そういう取り組みを寄せ集めたもので内部統制のしくみが構成されてきているケースが多いのではないかと思います。KDDIでは、もともとやらなければならないものだから、この機会にしっかりやっておこう。付加価値をつけた取り組みにしようというスタンスをとっています。

業務プロセスを改善し、業務を効率化し、安全性を確保する。リスクマネジメントを徹底して全社的なリスクの低減をはかる。財務報告の信頼性を向上させる。このような努力を続けながら健全な成長を続けていくためには、全社員が共有すべき統一価値観が確立されている必要があります、そのことがとても大事なポイントだと思います。

私たちはKDDIフィロソフィーを基盤にした企業クオリティの向上を掲げています。当社はもともと3社合併で誕生しその後も色々な企業と合併しながら今日に姿になっております。そういう中でKDDIフィロソフィーは様々な出身母体からなる社員の価値観を束ねる役割を果たします。